

クルマから簡単に 各種電源を引き出せる

『電源&信号線BOX』を作ろう!

新型コロナウイルスの影響による在宅ワークや自宅待機で、手持ちぶさたになっている人も多いはず。ここはひとつじっくり腰を据えて、クルマ周りのDIYに挑戦してみてもいいか? 必要なアイテムも100均ショップやネットで入手できるぞ!

まとめ:中井 隆 写真:和南誠勝美



『電源&信号BOX』とは?

**電装品装着に必要な
配線作業を大幅に短縮できる!**

歴代「電源BOX」の
コンセントを引き継ぐ

ドライブレコーダーやレーダー探知機などの電装アイテムを装着する際、必ず行うのが電源や信号線の取り出し作業。しかしながら、装着のたびに内装やパネルを外すのは面倒、ということも12年前に製作したのが『電源BOX』シリーズである。

要はアクセサリ電源や常時電源、各種信号線などを簡単に引き出せるアイテムで、配線や構造はいたってシンプル。2008年12月号で製作した初代では家庭用配電盤をイメージして扉付きのボックスを活用したが、実際の使用では少々不便で、配線にネジ止めが必要だった点などもウィークポイントだった。そして2年後の2011年2月号では『Ver.2』を製作。こちらは端子などを表に出した開放タイプで、動作確認用のイルミネーションLEDなども装着。助手席足下に装着すると水濡れの心配もあったが、基本コンセントである「簡単に車載電源や信号線を引き出せる」という機能性の面では非常に優れたアイテムだった。

それから4年間、Ver.2を愛用してきたが、クルマの買い換えを機